

令和元年度 大学連携講座 実施報告書

静岡県の生態系を知り尽くす、体験する「しずおかいきもの講座」

1 趣旨

静岡県の地域資源を活かし、魅力発信につながる研究内容をテーマとした講座を、県内の複数大学等の教員により共同で開催し、ふじのくに地域・大学コンソーシアム構成校の教員等による学術・研究成果の積極的な地域還元を図ることを目的とする。

本年度は、若年層への「ふじのくに学」の普及を図るため、小中学生の関心が高い本県の特色ある生態系をテーマにした講座を開催した。

2 連携大学

静岡大学、常葉大学、東海大学海洋学部、静岡英和学院大学、静岡文化芸術大学

3 役割分担

講師：静岡大学、常葉大学、東海大学海洋学部

学生スタッフ：静岡大学、常葉大学、東海大学海洋学部、静岡英和学院大学

チラシ製作：静岡文化芸術大学学生

4 開催概要

回	開催日	開催場所	名称・テーマ等	参加人数
第1回	10月13日（日）	富士市教育プラザ	静岡の生物多様性と外来生物 ～生きものとの関わり方～	72
第2回	11月9日（土）	菊川市商工会館	川の生きものたちのドラマ ～菊川編～	75
第3回	12月1日（日）	清水マリンビル （静岡市）	身近で意外と知らない魚たち	69
第4回	1月12日（日）	もくせい会館 （静岡市）	川の生きものたちのドラマ ～静岡市編～	67
計				283

第1回講座の概要

- 1 講座テーマ：「静岡の生物多様性と外来生物～生きものとの関わり方～」
- 2 連携大学：静岡大学、静岡英和学院大学、常葉大学
- 3 日時：令和10月13日（日）13時30分～15時30分
- 4 会場：富士市教育プラザ1階会議室
- 5 参加者数：72人（一般38人、小中学生27人、学生7人）
- 6 内容

内容		講師等
講演1	「外来生物について」 静岡県内や日本国内の外来生物の実態、駆除の取り組み事例、外来生物と人の関わり方について、国内外での経験を交えて講演した。	静岡大学 加藤英明 講師
講演2	「生物多様性について」 県内や日本国内、海外の生物の絶滅や、自然環境の変化と生態系、人間の活動との関係について時代ごとの現状を比較しながら講演した。	静岡大学 小南陽亮 教授
グループディスカッション	小中学生が6グループに分かれ、ファシリテーターの大学生と、2つのテーマ「アカミミガメ100万匹を最後の1匹まで取り除くには」、「絶滅危惧種に別の生殖場所を用意すれば、絶滅危惧種がすむ場所を開発してもよいか」について話し合った。	静岡大学 小南陽亮 教授 加藤英明 講師
パネルディスカッション	話し合った内容を各グループの代表者が発表し、小南教授、加藤講師が解説したり、質問に応えたりした。	

7 成果

参加者アンケートの結果から、小中学生、保護者とも講座内容について「とてもよかった」、「よかった」の合計が90%以上と全体的に満足度が高い結果となった。また、感想として「自然の環境や生き物についてすごく興味をもててよかった」「大学の先生の話聞くことが出来るのはいいことだと思う」などの声があり、地域の生態系や大学進学への関心を高めるきっかけになった。



第2回講座の概要

- 1 講座テーマ：「川の生きものたちのドラマ～菊川編～」
- 2 連携大学：常葉大学、東海大学海洋学部
- 3 日時：令和11月9日（土）13時30分～15時30分
- 4 会場：菊川氏商工会館2階大会議室
- 5 参加者数：75人（一般32人、小中学生35人、学生8人）
- 6 内容

内容		講師等
講演 1	「川のどこにどんな生きものが？」 水の循環の仕組みや、県内各地の淡水魚の生息場所、生態について講演した。	東海大学 海洋学部 秋山信彦 学部長
ミニ講座 1	「おさかなクイズ」 学生がクイズを通して淡水魚の生息場所や身体の特徴などについてわかりやすく紹介した。	東海大学 海洋学部 陸水生態研究会
ミニ講座 2	「生きもの劇場～川のやまんば～」 学生が市内の川「菊川」に昔から伝わるアカザという魚の伝説を劇で表現した。	常葉大学 自然体験活動研究会
講演 2	「絶滅の危機!?川のやまんばの正体」 菊川に生息するアカザの伝説やその生態、さらに菊川の自然環境問題について講演した。	常葉大学 山田辰美 名誉教授

7 成果

参加者アンケートの結果から、講座内容について「とてもよかった」「ややよかった」の合計が90%以上と満足度の高い結果となった。また講座への感想として、「菊川をはじめ、全国の水源地をきれいにする事の大切さを学んだ。」などの声があり、地域の生態系や自然環境の魅力や課題について広く知らせ、関心を持つきっかけにすることができた。



東海大学
海洋学部
秋山信彦
学部長



常葉大学
山田辰美
名誉教授



学生による
ミニ講座



会場全体

第3回講座の概要

- 1 講座テーマ：「身近で意外と知らない魚たち」
- 2 連携大学：東海大学海洋学部、ふじのくに地球環境史ミュージアム
- 3 日時：令和元年12月1日（日）13時30分～15時30分
- 4 会場：清水マリビル（静岡市）
- 5 参加者数：69人（一般29人、小学生以下32人、学生8人）
- 6 内容

	内容	講師等
講演 1	「深海魚の奇妙な子供達」 主に駿河湾に生息する深海魚の、子供時代の奇妙な生態について講演した。	東海大学 海洋学部 福井 篤 教授
ミニ講座 1	「海と川の生きものクイズ」 学生がクイズを通して水の生きものについて実物を見せながら紹介した。	東海大学 海洋学部 水棲環境研究会
ミニ講座 2	「大海の一滴～水と私たちの暮らし～」 学生が、地球に暮らす一員として水の大切さを考える劇風のプログラムを披露した。	常葉大学 自然体験活動研究会
講演 2	「波打ちぎわもすごい！じャりの中は新種だらけ！」 県内でも新種が多く発見されているハゼの生態や、調査の現状について講演した。	ふじのくに 地球環境史 ミュージアム 渋川浩一 教授

7 成果

参加者アンケートの結果から、講座内容について「とてもよかった」「よかった」の合計が100%と非常に満足度の高い結果となった。また「福井先生、渋川先生のお話とも、なかなか聞けない面白い内容で、子どもも楽しめる講座だった。」といった感想があり、幅広い世代に駿河湾など静岡県内の身近な海の生きものについて関心を持ってもらい、大学についても知ってもらおうきっかけとなった。



東海大学
海洋学部
福井篤 教授



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム
渋川浩一 教授



学生による
ミニ講座



会場全体

第4回講座の概要

- 1 講座テーマ：「川の生きものたちのドラマ～静岡市編～」
- 2 連携大学：常葉大学、東海大学海洋学部
- 3 日時：令和2年1月12日（日）13時30分～15時30分
- 4 会場：もくせい会館富士ホール（静岡市）
- 5 参加者数：67人（一般34人、小学生以下24人、学生9人）
- 6 内容

内容		講師等
講演 1	「海と川をつなぐ魚～シロウオのひみつ～」 静岡市内の興津川、波多打川、安倍川などに生息するシロウオの子育てや観察できる場所などについて講演した。	東海大学 海洋学部 秋山信彦 学部長
ミニ講座 1	「おさかなクイズ」 学生がクイズを通して海と川を行き来して生活する魚について紹介した。	東海大学 海洋学部 陸水生態研究会
ミニ講座 2	劇「ズガニの毛」 学生がユーモアたっぷりの演技で地域に伝わるズガニ＝モクズガニの伝説を紹介した。	常葉大学 自然体験活動研究会
講座 2	「そーっとのぞいて見てごらん～川の中のドラマ～」 市内の瀬戸川、安倍川、藁科川、興津川に生息するモクズガニについて講演した。	常葉大学 山田辰美 名誉教授

7 成果

参加者アンケートの結果から、講座内容について「とてもよかった」「よかった」の合計が100%と非常に満足度の高い結果となった。また「シロウオの子育ての話聞いて、シロウオが大好きになりました。」「先生のお話とともにクイズや劇があり、子どもも楽しく聞いていました。」といった感想があり、幅広い年代の方に、静岡市内の川の生きものや、大学や大学生の姿を身近に感じてもらうきっかけになった。



東海大学
海洋学部
秋山信彦
学部長



常葉大学
山田辰美
名誉教授



学生による
ミニ講座



会場全体